

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アイメタルテクノロジー

コード番号 5605 URL <http://www.imetal.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大岡 信一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部門統括

(氏名) 齋藤 誠

TEL 029-831-1791

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	11,871	△62.9	△1,948	—	△2,128	—	△1,315	—
21年3月期第2四半期	31,999	—	1,447	—	1,221	—	523	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△29.33	—
21年3月期第2四半期	11.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	46,360	18,823	40.6	419.76
21年3月期	47,123	20,134	42.7	448.99

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 18,823百万円 21年3月期 20,134百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

現時点では、期末配当は未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,500	△39.5	△1,800	—	△2,200	—	△1,350	—	△30.10

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第2四半期 | 45,000,000株 | 21年3月期 | 45,000,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第2四半期 | 157,581株 | 21年3月期 | 156,313株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第2四半期 | 44,843,255株 | 21年3月期第2四半期 | 44,845,506株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。
- 平成22年3月期の配当予想につきましては、業績の状況や経営環境の先行きが不透明であることから、今後の業績の動向を見極めつつ検討することとしており未定とさせていただきます。予想額の開示は可能となった時点で速やかに開示いたします。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年秋以降の世界的な金融危機の影響による景気の急速な悪化に底打ち感が見られるものの、先行き不透明感は強く、引き続き予断を許さない厳しい状況が続いております。

当社グループの得意先であるトラック業界および建設機械業界の需要先別・四半期別の売上高は以下のとおりとなりました。

(需要先別・四半期別内訳)

(単位 売上高：百万円、構成比・増減率：%)

		当期 平成22年3月期		前期 平成21年3月期		前年同四半期比較	
		売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	増減率
自動車用部品	第1四半期 (自 4月1日 至 6月30日)	4,078	91.8	13,492	85.7	△ 9,414	△ 69.8
	第2四半期 (自 7月1日 至 9月30日)	6,855	92.3	13,738	84.5	△ 6,883	△ 50.1
	第2四半期累計期間 (自 4月1日 至 9月30日)	10,933	92.1	27,231	85.1	△ 16,297	△ 59.8
建設機械及び 一般産業用部品	第1四半期 (自 4月1日 至 6月30日)	364	8.2	2,251	14.3	△ 1,887	△ 83.8
	第2四半期 (自 7月1日 至 9月30日)	573	7.7	2,516	15.5	△ 1,942	△ 77.2
	第2四半期累計期間 (自 4月1日 至 9月30日)	937	7.9	4,767	14.9	△ 3,830	△ 80.3
計	第1四半期 (自 4月1日 至 6月30日)	4,442	100.0	15,744	100.0	△ 11,301	△ 71.8
	第2四半期 (自 7月1日 至 9月30日)	7,428	100.0	16,255	100.0	△ 8,826	△ 54.3
	第2四半期累計期間 (自 4月1日 至 9月30日)	11,871	100.0	31,999	100.0	△ 20,128	△ 62.9

当第2四半期累計期間の売上高は118億71百万円（前年同四半期319億99百万円の62.9%減）と大変厳しい状況であります。第1四半期会計期間の売上高44億42百万円に対し、当第2四半期会計期間は74億28百万円の67.2%増となり、自動車用部品を中心に一時期よりは回復してまいりましたが、まだ、十分な回復には至らない緩やかな回復基調となりました。

損益面では、グループ一丸となって生産効率向上、経費節減などに取り組んだものの、第1四半期の損失が大きく影響し、営業損失19億48百万円（前年同四半期14億47百万円の営業利益）、経常損失21億28百万円（前年同四半期12億21百万円の経常利益）、四半期純損失13億15百万円（前年同四半期5億23百万円の四半期純利益）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

(a) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ16百万円減少し、114億71百万円となりました。これは主として、借入の実施により現金及び預金が17億60百万円増加したのに対し、在庫調整が進んだ結果、製品在庫が10億79百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ7億46百万円減少し、348億89百万円となりました。これは主として、有形固定資産が10億8百万円減少し、投資その他の資産が2億63百万円増加したためであります。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて7億62百万円減少し、463億60百万円となりました。

(b) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて39億85百万円減少し、117億43百万円となりました。これは主として、その他に含まれている設備関係支払手形及び設備関係未払金が43億90百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて45億34百万円増加し、157億93百万円となりました。これは主

として、長期借入金の借入実施により49億53百万円増加したことによります。

(C)純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて13億11百万円減少し、188億23百万円となりました。主な要因は四半期純損失13億15百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しといたしましては、世界的な経済の停滞、急激な円高の影響等により先行き不透明な経済環境が続くものと思われまます。

当社グループはこのような状況を踏まえ、引き続き生産効率向上と費用削減を進め、受注量に対する最適生産体制を整えるとともに、品質・納期・コストのより一層の改善を図り、受注拡大・経営体質強化に努めてまいる所存です。

平成22年3月期の通期の連結業績予想は、主要得意先であるトラック業界・建設機械業界共急激な需要回復は見込めず、売上高は自動車用部品270億円、建設機械および一般産業用部品25億円の合計295億円と期初予想を下回る見込みであります。売上減少分については、費用削減等企業努力により吸収し、各利益段階は期初予想と変わりません。

平成22年3月期 通期連結業績見通し

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成21年5月15日発表)	31,300	△1,800	△2,200	△1,350
今回見込額(B)	29,500	△1,800	△2,200	△1,350
増減額(B-A)	△1,800	0	0	0
増減率(%)	△5.8	0	0	0

※業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法をとっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,567,807	1,807,059
受取手形及び売掛金	3,950,156	4,058,690
製品	1,310,715	2,390,346
仕掛品	320,676	303,894
原材料及び貯蔵品	1,064,340	1,011,599
その他	1,258,391	1,916,737
貸倒引当金	△1,067	△1,056
流動資産合計	11,471,020	11,487,270
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,984,364	13,140,705
機械装置及び運搬具(純額)	9,319,530	10,102,114
土地	6,726,256	6,726,256
その他(純額)	4,272,786	4,342,793
有形固定資産合計	33,302,938	34,311,870
無形固定資産		
無形固定資産合計	29,472	30,855
投資その他の資産		
投資有価証券	1,124,726	1,057,031
その他	435,253	239,009
貸倒引当金	△2,600	△2,600
投資その他の資産合計	1,557,380	1,293,441
固定資産合計	34,889,791	35,636,167
資産合計	46,360,811	47,123,437

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,583,155	3,579,709
短期借入金	6,087,080	5,938,580
未払法人税等	30,334	2,984
その他	2,043,175	6,208,095
流動負債合計	11,743,744	15,729,369
固定負債		
長期借入金	13,451,320	8,497,360
退職給付引当金	475,162	549,902
その他	1,867,506	2,212,425
固定負債合計	15,793,988	11,259,688
負債合計	27,537,733	26,989,058
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,480,000	1,480,000
資本剰余金	9,510,553	9,510,553
利益剰余金	6,212,303	7,527,546
自己株式	△18,333	△18,121
株主資本合計	17,184,523	18,499,978
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,998	20,662
繰延ヘッジ損益	△60,160	—
土地再評価差額金	1,920,161	1,920,161
為替換算調整勘定	△239,445	△306,422
評価・換算差額等合計	1,638,553	1,634,401
純資産合計	18,823,077	20,134,379
負債純資産合計	46,360,811	47,123,437

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	31,999,285	11,871,271
売上原価	28,462,938	12,729,912
売上総利益又は売上総損失(△)	3,536,346	△858,640
販売費及び一般管理費	2,088,959	1,089,554
営業利益又は営業損失(△)	1,447,387	△1,948,195
営業外収益		
受取利息	408	93
受取配当金	8,538	4,591
固定資産賃貸料	27,431	24,340
受取ロイヤリティー	14,257	6,579
還付加算金	—	21,427
その他	13,097	17,021
営業外収益合計	63,733	74,053
営業外費用		
支払利息	94,655	154,872
シンジケートローン手数料	101,973	41,508
持分法による投資損失	22,875	3,565
その他	70,131	54,298
営業外費用合計	289,635	254,244
経常利益又は経常損失(△)	1,221,485	△2,128,386
特別利益		
固定資産売却益	—	53
特別利益合計	—	53
特別損失		
固定資産除却損	8,780	15,178
固定資産売却損	374	—
たな卸資産評価損	79,134	—
会員権評価損	—	250
特別損失合計	88,289	15,428
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,133,196	△2,143,761
法人税等	609,964	△828,519
四半期純利益又は四半期純損失(△)	523,232	△1,315,242

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）
該当事項はありません。

6. 【生産、受注および販売の状況】

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績を示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
自動車用等関連部品製造事業	10,322,526	△68.2
計	10,322,526	△68.2

(注) 金額は販売価格に換算しており、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間の受注実績を示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
自動車用等関連部品製造事業	13,846,943	△57.1	4,636,166	△43.6
計	13,846,943	△57.1	4,636,166	△43.6

(注) 金額に、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績を示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
自動車用等関連部品製造事業	11,871,271	△62.9
計	11,871,271	△62.9

(注) 1 主な相手先の販売実績および総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
いすゞ自動車株式会社	23,668,878	74.0	9,707,187	81.8

2 金額に、消費税等は含まれておりません。

【重要な後発事象】

当社は、平成21年11月6日開催の取締役会において、現在、3工場に分散している部品加工工場を2工場に集約すると同時に、組織改編を行い素形材生産から部品加工まで、より一貫した生産管理体制を構築することを決定いたしました。

これにより品質の向上、生産効率の改善、コスト競争力の強化を図ってまいります。

具体的には綾瀬部品工場（所在地 神奈川県綾瀬市）の生産ラインを土浦部品工場（所在地 茨城県土浦市）へ平成22年6月までに全面移管致します。

なお、本件が連結財務諸表に及ぼす影響については、特別損失として約1億円を見込んでおり、通期業績予想に反映しております。